

高齢者団体と共同開発した スマホ向け防災アプリが話題

体調管理アプリ「Metell®-ミテル-」をはじめ、IT事業を幅広く手がけるアップリーチはこのほど、防災*アプリ「MetellLIFE (ミテルライフ)」をリリース。地域の老人クラブと意見交換し、機能やデザインに反映するという斬新な開発プロセスが話題を呼んでいる。



橋本里華専務取締役

しい人と救助に動ける人の自動マツチング機能(年内搭載予定)を通じて迅速な人命救助、復旧作業を支援します」

「ミテルライフの開発を主導した橋本里華専務はこう話す。激甚災害の多発を背景に今年4月のリリース前から全国の自治体や自主防災組織からの問い合わせが相次いでおり、複数の団体、組織が試験導入を開始。機能面はもちろん、シンプルなUI(ユーザーインターフェース)が好評で、リーズナブルな料金体系も導入を後押ししているようだ。

「自治体向けの価格が利用1世帯あたり月額3円、自治会・町内会・老人クラブ等向け価格が月額4500円(いずれも税別)と手取りやすい価格帯を意識しました」と橋本専務は説明する。

50超の老人クラブと連携

同社が拠点を置く千葉県浦安市では東日本大震災の際に液状化現象が市内の各地で発生。地域住民と行政が一丸となって復旧作業に取り組んだ。この経験から市民の防災意識はきわめて高く、特に液状化の被害が深刻だった湾岸エリアの高層マンションでは、今も多

くの住民が防災訓練に積極的に参加しているという。

「ミテルライフの開発プロジェクトが立ち上がったのは、同社を率いる原康則社長が訓練に参加するなかで、ある「危機意識」を強く感じたからだ。

橋本専務は続ける。

「災害時はエレベーターが使えないことが想定されるので訓練でもつばら階段を使って高層階に向かいますが、エレベーターを使わずに高層階を行き来することは大変ですし、特に停電時に階段で安全確認に向かうことは危険がともないます。代表の原が地域の防災訓練に参加するなかでこれらの課題を痛感したため、災害時の安全確認をスマートかつスピーディーに行うためのスマホアプリの開発プロジェクトが立ち上がり、私が陣頭指揮を取ることになりました」

目指したのは「デジタル端末になじみのない高齢者でも簡単に使いこなせるアプリ」(橋本専務)だ。そこで同社では、市内の老人クラブと綿密にコミュニケーションを図り、意見交換を重ねながら開発を進めることにした。連携にあたり、原社長とかねてより親交のあった浦安市老人クラブ連合会(べ

まず目を引くのが画面いっぱいに表示された安否確認メッセージである。さらに視線を下に移すと「はい」「いいえ」のボタンが並ぶ(左図参照)。災害が発生すると自治体、町内会や自治会、集合住宅の管理組合などの組織が地域住民

に向けてこうしたメッセージを配信。寄せられた回答をもとに被害の規模や被災状況をリアルタイムで把握し、救助活動や復旧作業の迅速化につなげるのが「ミテルライフ」の狙いだ。

「災害発生時の課題として特に挙げられるのが『初動対応の遅れ』です。自治体等では各所から寄せられた災害情報を手書きで整理することが多いため、情報を体系的に管理したり速やかに共有できず、結果、初動対応の遅れにつながっています。『ミテルライフ』が目標とするのはスピーディーな災害復旧の実現。安否確認データの一括収集やチャット機能、助けがほ

*防災とは…地域住民が支えあい、助けあいながら安全確保のための行動をとること。



主な機能	
災害発生時	通常時
安否確認機能	お知らせ機能
トーク機能	アンケート配信機能
【開発中】 助けてほしい人×助けに行ける人の自動マッチング機能	トーク機能 【開発中】 防災用品のライブコマース機能

価格
 自治会/町内会/老人クラブ：月額4500円（税別）
 地方公共団体 月額1世帯@3円（税別）
 リーズナブルな価格設定により、導入のハードルとなるコスト面を解決。

「文字は大きく見やすい方が良い」「ボタンは大きい方が良いのでは」「ボタンの大きい方が良いのでは」

「多いときで週2回以上、合計で20回以上ミーティングをしたでしょうか。スマホに不慣れな方も多く、操作方法から丹念にレクチャーしました」と橋本専務。

「伊シニア浦安」の相原勇二会長に共同開発をオファー。「高層マンションに暮らす高齢者は多い。ぜひとも力をお貸ししたい」と相原会長も快諾したという。

プロジェクトが始動した昨年8月以降、ベイシニア浦安に加盟する50超の老人クラブから参加者を募り、打ち合わせの場を設けてUIや機能面について議論した。



トーク機能使用時 お知らせ配信時 アンケート配信時 安否確認配信時 ログイン画面

「他の世帯と気軽にコミュニケーションが取れる機能をつけてほしい」

など、高齢者ならではの意見を反映したことでシンプルかつ機能性を使い勝手に優れたアプリに仕上がった。

高齢者の健康管理機能も

こうして地域の高齢者の意見を吸い上げて開発したミテルライフは、災害時だけでなく平常時の活用も期待されている。ミテルライフには地域コミュニケーションの情報共有、アンケート配信、連絡網、高齢者の健康管理や見守り機能など

社会のつながりを強化

6月には東京ビッグサイトで開催される「地域防災EXPO」の出演を予定。自治体向けのPRにも積極的に取り組み、ユーザーの拡大を目指す。

「まだまだ緒に付いたばかりですが、ゆくゆくは全国の自治体に導入いただけるよう展示会等のイベントに参加し、サービスを訴求していく予定です」（橋本専務）

なかでも大手電子機器メーカーとのコラボレーションにより実現した「高齢者の見守り機能」は今夏の実装を予定。この機能ではウェアラブル端末を通して血圧や心拍数といったバイタルデータを収集し、遠隔地に住む親族に共有することができるといふ。

高齢者世帯が増加する一方、地域コミュニティの希薄化や民生委員の不足などによって、都市部を中心に「共助」の力が失われつつある。ミテルライフはそんな地域社会のつながりを強化するサービスとして、着実に頭角を現している。

株式会社アップリーチ
 設立 2016年9月
 所在地 千葉県浦安市入船1-5-2 プライムタワー新浦安5F
 売上高 1億6000万円
 社員数 19名